

光質制御による ワケギの夏季安定 生産技術の確立

背景

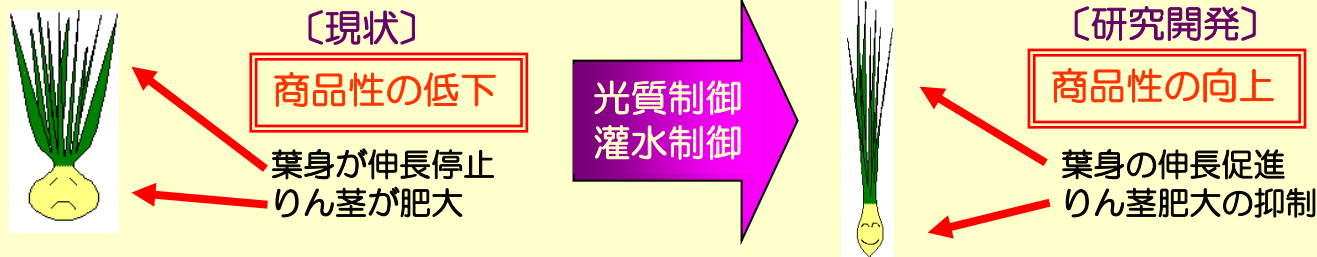
- ▶ 広島県のワケギ生産量は全国一
(栽培面積106ha、生産量2800t、
生産額12億円、大阪市場の90%)
- ▶ 休眠打破技術により周年出荷が可能
- ▶ 夏季の品質低下と生産量が少ない

研究目標



夏季出荷のための安定化技術

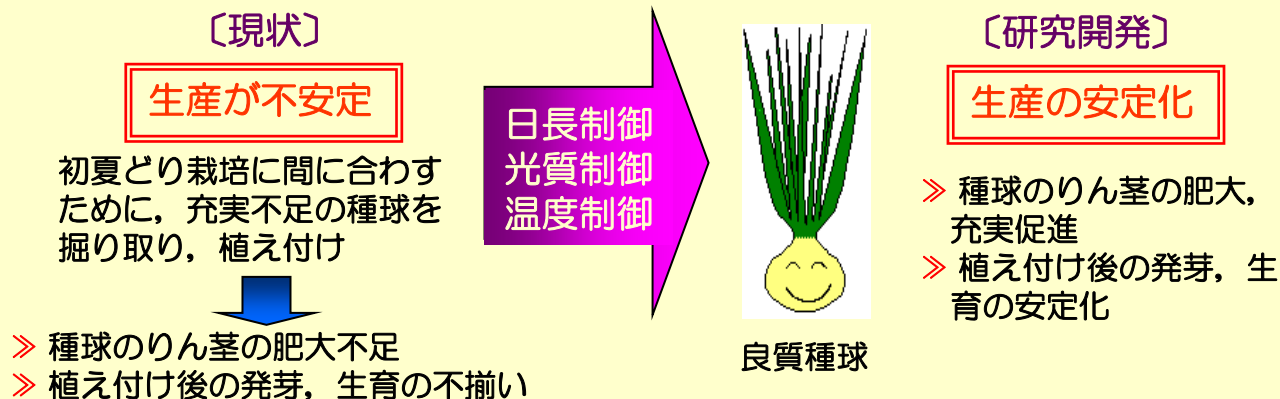
◆ りん茎の肥大抑制のための光質制御技術と土壌水分管理技術の確立



これまでの成果：紫外線並びに遠赤色光の除去により、りん茎の肥大が抑制されることを明らかにした (H14,15)

初夏どり用の良質種球生産技術

◆ 良質な種球を生産するための日長・光質制御と温度管理技術の確立



これまでの成果：白熱電球を用い、畝面のPPFDを2.0~2.7 $\mu\text{mol}/\text{m}^2/\text{s}$ にすることにより、りん茎の肥大指数が3.2に達することを明らかにした (H15)